

1. 単元（題材）名

第3章 現代の民主政治と社会 1節 現代の民主政治 だれを市長に選ぶべき？

2. 単元観 → 実際のレポートに記載する必要はありません。

本単元は、政治学習の導入部となる単元である。

政治に関するニュースは日々、様々なメディアを通して流れている。しかし、政治分野の学習内容は、難しく、捉えにくい内容があり、生徒（学習者）にとって身近に感じにくい。選挙権を有する年齢が18歳に引き下げられたにもかかわらず、政治に対して無関心な若者が増加する現代社会の状況を、社会科（特に公民的分野）の学習を通して改善していきたいものである。

そこで本時は、単元のまとめとして、工場の跡地利用を争点とする架空の市長選挙を設定し、誰を市長に選ぶべきかを考えさせる作業的・体験的学習活動を行わせる。支持者を選択する際、感覚的な思い付きではなく、「市民の声」や各資料をもとに「効率」と「公正」の観点を踏まえて各候補者の政策を検討し、さらに同じ有権者との意見交流を通して最終的な支持者を確定させる展開案にした。また、18歳に選挙権が引き下げられたことに伴って、実際の選挙用具を使用し模擬選挙を実施することにした。

3. 研究とのかかわり

① 思考力・判断力を高めるための工夫について

模擬選挙の授業を通して、思い付きではなく多様な現状や候補者の政策について資料を読み取りながら、支持する候補者を選択させることで、個人としての価値判断を促す。

また、班による意見交流の時間を設定し、他者の意見を聞き、自らの意見（考え）と比較することで新たな意見（考え）を構築することにつなげる。

② 教具の活用について

(ア) ICTの活用

全員が同じもの（資料などの教材）を視覚的に把握させるために、電子黒板やデジタル教科書を活用する場面を設定する。

(イ) 実物教具の使用

数年後に有権者となる学習者に対して、市の選挙管理委員会から選挙用具を借用し、実物の投票用紙・記載台・投票箱への投票を経験させる場面を設定する。

4. 単元の目標・指導計画

(1) 単元の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・国民の積極的な政治参加が議会制民主主義を支えていることに気づかせ、政治に関心を持たせるとともに、積極的に関わっていこうとする態度を育てる。 ・政党の役割や選挙制度、世論などの政治参加の方法について多面的・多角的に考察させ、望ましい政治参加の在り方について自分の考えを表現させる。 			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
身近な生活と政治との関わりに関心を持ち、政党の役割や選挙の仕組み、現代日本の民主政治の課題について意欲的に追究している。	選挙をはじめとする国民の政治参加が民主政治を支えていることに気づき、望ましい政治参加の在り方について、資料の読み取りや話し合いなどを通して多面的・多角的に考察し、自分の考えをわかりやすく表現している。	最近の選挙に関する話題や各政党の政権公約などについて、新聞やインターネットなどを活用して資料を収集・選択し、複数の資料を比較したり、課題に即して読み取ったり、適切にまとめたりしている。	政治や議会制民主主義、政党政治の考え方や意義について理解している。 多数決の原理とその運用の在り方、選挙制度、政党や世論の役割などについて理解し、その知識を身につけている。

(2) 単元の指導計画

	学習内容	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
1	民主主義と政治		民主主義の考え方が大切であることを、歴史的な経緯を踏まえて考え、適切に表現している。		議会制民主主義において、多数決の原理と少数意見の尊重が重要であることを理解している。
2 3	政治参加と選挙		選挙に関する課題について、有権者や立候補者、選挙制度などのさまざまな視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。		選挙の意義と日本の選挙制度のあらましについて理解している。
4	政党と政治	現在の日本の政党政治の動向や課題について意欲的に調べ、関心を高めている。			政党の役割について、具体的な事例に基づいて理解している。
5	マスメディアと世論		新聞記事の構成や内容を比較し、気づいたことや考えたことを適切にまとめ、発表している。	課題に沿って新聞記事を収集・選択し、その内容を的確に読み取っている。	

6 本 時	だれを市長に選 ぶべき？	政治に対して関 心を持ち、学習に 意欲的に取り組 んでいる。		市の課題を踏ま え、課題解決や将 来の展望につい て、効率と公正の 観点から多面 的・多角的に考察 している。	
-------------	-----------------	---	--	---	--

5. 本時の学習

(1) 本時の目標

- ① 市長選挙の各候補者の政策を市民の立場から分析する活動を通して、政治について関心を持つ。
- ② 政治が身近なものであることや、主権者として政治に積極的に参加することが大切であることに気づく。

(2) 本時の評価

- ① **B 規準**：政治に対して関心を持ち、学習に意欲的に取り組んでいる。

<指導の手立て>

机間指導またはワークシート回収した際に適宜指導する。

- ② **B 規準**：市の課題を踏まえ、課題解決や将来の展望について、効率と公正の観点から多面的・多角的に考察している。

<指導の手立て>

机間指導またはワークシート回収した際に適宜指導する。

(3) 本時の展開

段階	時間	学習活動	教師の指導・支援	学習評価
導入	3分	○教科書 p 72 を読み、本時の学習内容を把握する。	○教科書 p 72 を読ませて、本時の学習内容を把握させる。 ※電子黒板にデジタル教科書投影	研究とのかかわり② (ア)
展開	37分	候補者の政策をもとに、市長を選ぼう！		
		○教科書の資料を読み、場面を把握する。	○教科書の資料 1～3 のデータと「市民の声」を読ませ、場面を把握させる。 ※電子黒板にデジタル教科書投影	研究とのかかわり② (ア)
		○各候補者の政策をもとに、どの候補者を支持するか、自分の考えをまとめる。	○各候補者の政策をもとに、どの候補者を支持するか、自分の考えをまとめさせる。 (効率と公正の観点を踏まえ、理由も併せて考えさせる。)	評価② 研究とのかかわり①
		○班の中で意見交流する。 ・発表 ・質問	○班の中で意見交流させる。 ・支持する候補者とその理由を各自発表 ・全員発表後に質問タイム	研究とのかかわり①
		○意見交流を踏まえて、再度どの候補者を支持するか、自分の考えをまとめる。 ○支持する候補者に投票する。	○意見交流を踏まえて、再度どの候補者を支持するか、自分の考えをまとめさせる。 ○実際に投票させる。 ・投票用紙に記載し、投票箱に投票させる。 ※選挙管理委員会から借用した投票箱・投票用紙記載台などを使用	評価② 研究とのかかわり② (イ)
終末	10分	○市長を選ぶ(私たちの願いや意見を政治に生かす)ために、どのようなことを考えなければならないか、本時の学習を振り返る。 ○発表する。	○市長を選ぶ(私たちの願いや意見を政治に生かす)ために、どのようなことを考えなければならないか、本時の学習を振り返らせる。 ○数名に発表させる。	評価①